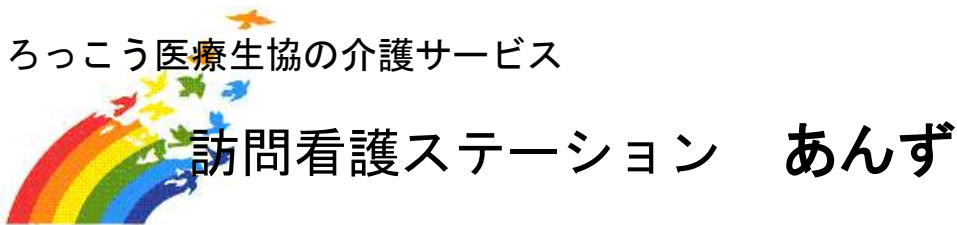


ろっこう医療生協の介護サービス



神戸市灘区水道筋 6—7—1 1 (医療生協センター4階)

電話： 078—802—3661

訪問看護ステーションあんずでは、病気や障がいのある方が住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護ケアを提供し、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスをおこなっています。具体的には、

①病気や障がいの状態、血圧・体温・脈拍などのチェック②身体の清拭、洗髪、入浴介助、服薬、食事や排泄などの介助・指導③リハビリテーション(要介護状態の悪化防止・歩行訓練・福祉用具活用の助言)④かかりつけ医の指示に基づく医療処置(床ずれの手当・点滴など)⑤認知症のケア生活リズムの調整・助言、対応方法のアドバイス⑥在宅酸素、人工呼吸器などの管理⑦ご家族への介護支援・相談など、医療的な側面から在宅での援助に当たっています。

また、在宅での療養には、サービス連携が不可欠です。医師、介護支援専門員、ヘルパーなど`日常的に報告、連絡、相談をおこない状況の変化にすぐさま対応しております。

あんずは、2000年10月に開設されました。現在、スタッフは、看護師6名、作業療法士3名、理学療法士1名、事務2名です。花言葉にあるように皆が上品で清楚でありながら、その中に“柔軟な強さ”をひめているベテランのスタッフです。

ちなみに あんず という名前は、董仙(とうせん)の杏林(きょうりん)という中国の古い伝説から ったようです。《董仙の杏林》伝説とは、《仁》、《愛》、《慈》、《優》の精神で貧しい人を治療した董奉(とうほう)という名医の話ですが、彼は貧しい人からはいっさい治療代を受け取らず、そのかわりに1本の“あんず”の木を裏山に植えてもらいました。そして、たくさんの貧しい人々を救ったので、ついに裏山は見事な“あんずの林(杏林)”となり、人々はこれを《董仙の杏林》と呼んで、彼の人柄と医術を永遠にたたえたいという話です。

まさしく医療の原点。この精神を胸に、今日も額に汗しながら 自動車、自転車で地域を訪問し、みなさんに明るい笑顔と看護サービスをお届けどけしているのが訪問看護ステーションあんずなのです。

訪問看護とは・・・

看護師などが自宅を訪問して、病状の観察やねたきり、床ずれ予防のためのケアなどを行います。